

モーモー通信



まぼろし つちにんぎょう 幻の土人形 三原人形2

こんにちは！三原人形の加藤清正じゃ。前回に引き続き、「三原人形」についてくわしく紹介するぞ！



私は兜をもっている八重垣姫よ。この間もお会いしましたね！この兜お気に入りなの。可愛いでしょ〜♪

三原人形は40種類くらいあって、初節句には、勇ましい戦国武将や愛らしいお姫様、学問の神様の天神等が贈られたわ。



三原人形は、底がないことと、大きいのが特徴なんじゃ！わしはこう見えても、52cmの高さで**迫力満点**！では、その**作り方**を見ていこう。



作り方

①粘土

粘土を三原や尾道、四国から取り寄せます。粘土に水をいれてよくかき混ぜ、不純物を取り除いた後、一部には細かい砂を混ぜてよくこねて、板状にのばします。



②型どり

二枚の型の内側に粘土の付着を防ぐための粉を塗り、指で粘土をまんべんなく側面に押しつけていきます。



③焼成

乾燥後、前部と背面部を合体させます。その後かまに入れ、火を松葉などでおこして2時間くらい焼成します。

火を止めて温度が下がった頃、かまから出します。

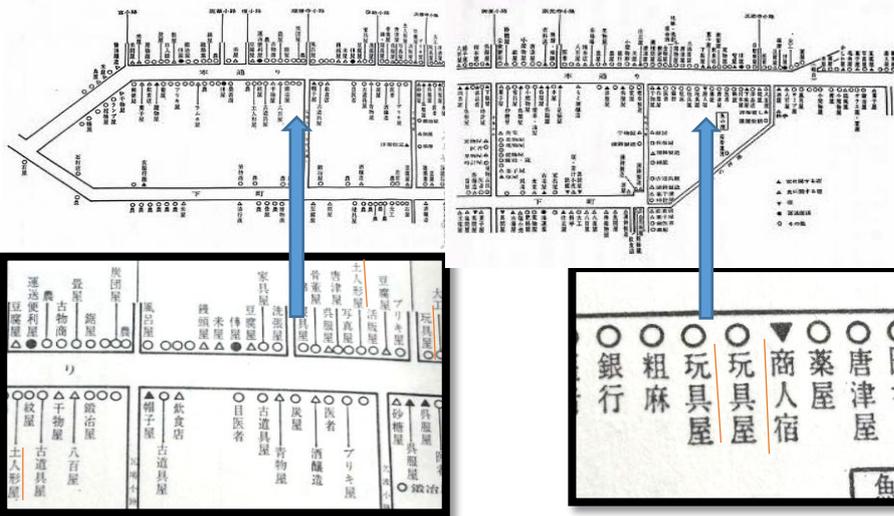


④下塗りと色付け

和紙を貼って、人形の底をふさぎます。全体に胡粉(白い顔料)を何度も塗り、特に顔の部分は何度も塗ってツヤを出します。

乾燥後、膠と絵の具を混ぜたもので、各部を色づけします。





↑は、『三原市史 第7巻 民俗編』の西町復元図(明治末期頃)です。三原人形は、大正年間には廃絶したといわれています。明治末期頃は三原人形を販売していた土人形屋と玩具屋は5軒あったことが分かります。



三原人形の型

三原市歴史民俗資料館には、土人形の型が収蔵されているのよ。また、沼田東町本市で作られていた本市人形も存在したといわれているけど、資料館に収蔵されていなくて、幻の土人形となっているわ。

こま回しの達人 たっじん



人形の後ろや内側には、贈った人の名前や愛情あふれる一文等を見ることができるぞ。周りの人たちで子どもの誕生と成長を祝ったんじゃ。



約100年前、三原の床の間をかざった三原人形。現代の節句時には、豪華なひな人形や五月人形が並びますが、三原人形には素朴なあたたかさともくもりが感じられます。今にはない、違ったおもむきがあったモー！



つづきは資料館で ...

〒722-1303
 三原市久井町下津 1397
 三原市久井歴史民俗資料館
 TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日休館)、年末年始
 アクセス 中国バス久井中停留所下車

ごあんない図

